

その契約、本当に大丈夫？

悪徳業者にご用心！！

(第二十五弾)

訪問販売業者に関する相談が増えています。

訪問販売業者が家にやって来ても即断せず、
必ず家族等へ相談しましょう。

智頭警察署に「訪問販売業者」に関する相談が数件寄せられています。
訪問販売業者全てが悪質業者というわけではありませんが、トラブルに巻き込まれないよう、次の点に注意してください。

【被害に遭わないためのポイント】

「悪質業者は、う・そ・つ・き」と覚えましょう

「う」～うまい話を信用しない！

「そ」～相談する！

「つ」～つられて返事をしない！すぐに契約しない！

「き」～きっぱり！はっきり！断る！

※ 業者から名刺をもらうなどの措置も忘れない

〈悪質商法の相談例〉

(※智頭警察署で受理したものではありません)

・住宅のリフォームに関するトラブル

- 「無料で点検します」…と言って業者が自宅を訪問してきた。
- 「このままでは雨漏りがする」…と言われ仕方なく屋根の修理を頼んだ。
- 詳しい説明もないまま作業が行われ、最終的に高額な費用を請求された。

【アドバイス】

- ◇ 住宅のリフォームなど高額なものは家族と相談して決める。
- ◇ 一人で契約をせず、家族や知人の同席を求める

悪いことを考える犯人は、電話でもみなさんを騙そうとしてきます。

げきじょうがた

さぎ

「劇場型詐欺」

という言葉を知ったことがありますか？

件数は少なくなりましたが、特殊詐欺と言え

ば「オレだよ、オレ。」

のおなじみのフレーズから始まる「オレオレ詐欺」や「還付金詐欺」など、犯人が単独で電話を掛けてくるものが主流でした。

ただ今は少し違います。

劇場型詐欺とは、

- ① 複数の詐欺犯人が
- ② 警察官、弁護士、銀行協会職員、著名な民間企業社員などを演じ
- ③ 入れ替わり立ち代わり、様々な人物が電話を掛けてきて
- ④ 話を信じた被害者が現金やキャッシュカードをだまし取られてしまう

というものです。

対策はとっても簡単です。



自宅の電話機を

「留守番電話設定」にする!

犯人は、自分の声が録音されることを非常に嫌います。わざわざ犯人が「折り返し電話をください」などとメッセージを吹き込むことはありません。

この機会に「留守番電話設定」にしてみてもいいでしょうか。

相談先は、家族、消費者センター等の関係機関、警察、どこでも構いません！
大事なのは一人で即断せず、まずは相談することです。

智頭警察署 0858-75-0110

警察総合相談電話 # 9110

